

# 養殖瓦版

平成27年5月20日発行  
(第17号)

発行：千葉県水産総合研究センター・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議  
〒295-0024 千葉県南房総市千倉町平磯 2492  
電話：0470-43-1111 ファクス：0470-43-1114  
eメール：chiba-pfrc@mz.pref.chiba.lg.jp

## 「水産用医薬品の使用について」第28報について

この度、農林水産省から「水産用医薬品の使用について」第28報が発行されました。第27報からの主な変更点は以下の2点です。

1. 薬事法が改正され、法律名が「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に改称されました。
2. ピルビン酸メチルを有効成分とするふぐ目魚類の駆虫剤が新規承認されました。(12ページ、表1-6)

☆前報でもお知らせしましたが、省令の改正（平成25年11月30日施行）により、これまで獣医師の診療に基づく場合例外的に使用することができた未承認医薬品、動物用医薬品のうち、マラカイトグリーン、ニトロフラゾン、クロラムフェニコール等の13成分を含むものについては、例外なく食用動物への使用が禁止されています。

○ワクチンの使用にあたっては、指導機関の指導が必要となりますので、事前に当研究室まで連絡して下さい。

○医薬品は、添付文書等を確認の上、記載されている用法・用量、使用上の注意及び休薬期間に従って、適正に使用して下さい。

○安全な養殖魚を消費者に提供するため、養殖場で問題となっている魚病の原因を正確に知り、それに合った医薬品を選択し、適切に使用して下さい。

## 平成26年度 全国の魚病発生状況について

平成26年度に全国で発生した主要魚種の疾病について主なものをまとめると以下のとおりです。(12月5日に開催された水産増養殖関係研究開発推進特別部会「魚病部会」から)

ブリ類：ノカルジア症、ビブリオ病、ミコバクテリア症 など  
ヒラメ：エドワジラ症、ネオヘテロボツリウム症、滑走細菌症 など  
マダイ：エドワジラ、ビバギナ症、マダイイリドウィルス病 など

最近の魚病発生状況として、カンパチの眼球炎などの新たな魚病被害、ブリのべこ病などの以前見られた疾病による養殖被害、東南アジアで問題になっている細菌性疾病の発生があります。ご注意ください。

○原因不明な疾病や気になることがありましたら、ご連絡ください。

【連絡先：生産技術研究室 0470-43-1119・1120 玉井・早川・佐合】